

Bridge

vol.10

KINJO GAKUIN UNIVERSITY Parents' Association Report
金城学院大学 父母会会報 [ブリッジ10号] 2014.7

「インタビュー」

キャンパスの中心に、

大学のシンボルとなる新礼拝堂が誕生

金城学院宗教総主事・大学宗教主事

小室尚子教授



Interview

金城学院宗教総主事・大学宗教主事

小室 尚子教授

新礼拝堂「エラ・ヒューストン記念礼拝堂」にて
これからの“金城”について語る。

キャンパスの中心に、 大学の新たなシンボルとなる 新礼拝堂が誕生

「多様な交流を促す空間の創出」
「安全で使い易く、質の高い教育・研究環境の整備」
「自然と共生する環境配慮型キャンパスの整備」
これらをコンセプトに、2011年度にスタートした大規模な整備計画
金城学院キャンパスマスタープラン「KMP21」。
その第二フェーズとして今年の春、
キャンパスの中心に新礼拝堂「エラ・ヒューストン記念礼拝堂」が誕生しました。
そこに込めた様々な想いを、宗教主事を務める小室尚子教授に伺いました。

まさに大学のシンボルにふさわしい
新礼拝堂が完成しましたが、
ここに至るまでの歩みをお聞かせください。

私が宗教主事として赴任したのは2009年4月でした。金城学院大学を卒業して30年ほど経って大学に戻ってきたのですが、旧礼拝堂（エラ・ヒューストンホール）が手狭になつてきたこと、老朽化が進んでいたこともあり、着任後、大学へ建て替えの必要性を伝えていました。それから暫くして「KMP21」が持ち上がり、その第一フェーズの中の一つとして、新礼拝堂「エラ・ヒューストン記念礼拝堂」の新設が実現されることになりました。

礼拝堂の移転・新築にあたり、「礼拝堂建築委員会」が発足し、私もその委員として建築家等の専門家も交えて検討を重ねてきました。

まず、礼拝堂の場所は、「キャンパスの中心に設けられるセンターコートがふさわしい」と決定していましたが、新礼拝堂の設計プランにあたって

旧礼拝堂にはラウンジや図書コーナー、集会室など学生が集う場所があり、ハンドベルクワイアの練習場としても多くの学生に利用されてきました。新礼拝堂もそのように、礼拝以外にも学生が自由に利用できるようキャンパスライフに溶け込む存在にしたいのです。

当初の設計プランはオーソドックスな四角いデザイン、いわゆるシューズボックス型と呼ばれるものでした。礼拝堂と事務室のみで、学生が自由に集える場所には様々な制約があつて確保できないプランでした。しかし、それでは私たちが求めている「大学の礼拝堂」としては不完全です。再度、設計プランを考え直し、最終的にご提案いただいたのが、この楕円形の礼拝堂です。四角から楕円にすることで生まれたスペースを有効に活用し、その隣にラウンジや会議室を備えたキリスト教センター事務棟を併設する設計プランになりました。これにより個人的な外観が生まれ、学生たちが自由に集うことのできる空間を確保でき、大学のシンボルにふさわしい礼拝堂ができました。

キーワードは「光」

それから礼拝堂の内部についても、大切にしていたことがあります。それは「光」です。キリスト教では「光」は神を意味する神聖なものであり、新礼拝堂のイメージとしてつねに「光」というものが頭にありました。

内部正面に掲げられた十字架は、朝の礼拝の時にちょうど太陽の光が差し込むように計算されています。天井には、楕円の光の輪のように天窓を設け、そこから自然光を採り入れることで礼拝堂の内部は、「光」を印象的に、やわらかく演出した空間となりました。

大学の礼拝堂としてあるべき姿を

新礼拝堂を建てるにあたり、
どのようなこだわりをお持ちでしたか？

まず「広さ」について、250名を収容できた旧礼拝堂よりもキャンパステイの高い空間にしたいと考えていました。旧礼拝堂を建設した41年前に比べると、学部の増設に伴った学生数の増加、キャンパスの拡張など、大学の変化に対して手狭に感じていたからです。それから、町の教会ではなく大学の礼拝堂ですから、「学生が自由に集える場所にした」という強い思いがありました。

さらに両側の壁面には、聖書の中のシンボリックな数である「12」にちなんで、窓を12ヶ所設けました。壁面の窓には「礼拝堂の光を外に解き放つ」という意味があり、「キリストの光を受けて霊的に成長した学生たちに、世界の人々のために羽ばたいて欲しい」という想いを体現できたのではないのでしょうか。

礼拝堂内部のやわらかな光をはじめ、
椅子や壁の色にも安らぎを感じますね。

礼拝堂は、精神的な落ち着きを与える場所です。見学で訪れたさまざまな礼拝堂を参考にしながら、壁面にはやわらかい印象とあたたかみを感じるオフホワイトのレンガを、床材や椅子には深みのあるダークブラウンの木材を使用し、上品で落ち着いた空間に仕上がりました。一歩入ると、気持ちが引き締まり、それでいて心の安らぎを感じていただけたらと思います。

大きな窓があり明るかった旧礼拝堂と比べて、雰囲気は随分と変わりましたが、「礼拝堂として落ち着きを感じ、とても素晴らしい」というお声をたくさんいただいています。

■小室 尚子プロフィール

学位：神学修士(M.Div./Th.M.)

- ◆1975年本学卒業。本学キリスト教センターの助手を務めた後、再び神学を追究して東京神学大学及び大学院にて神学修士を取得。数少ない女性の牧師として東京の教会に務め、その後、アメリカの神学校でも学ぶ。帰国後、牧師やキリスト教主義大学の准教授を経て、2009年、金城学院宗教総主事・大学宗教主事に就任。
- ◆所属学会：日本基督教学会、キリスト教史学会、日本キリスト教教育学会、日本宗教学会
- ◆研究課題：日本のキリスト教史、キリスト教の日本における土着化の問題、キリスト教受容を困難にする日本人の精神構造の分析・研究

学生生活の中心的存在に

学生にとって新礼拝堂は、
 どのような存在であるべきだと
 考えてみましょう。

私が金城学院大学の学生として、このキャンパスで過ごしていた頃を振り返ると、旧礼拝堂はハンドベルクワイアの練習場でもあり、ラウンジや集会室があったことから学生の出入りが多くていつも活気にあふれていた記憶があります。あれから30年経ち、宗教主事として再び大学の一員になって感じたことは、礼拝堂が随分寂しくなったということです。

その理由には、当時よりもキャンパスがかなり拡張されたことがあるでしょう。学生が自由に利用できるラウンジなどがあちらこちらにできたり、校舎が増えて礼拝堂の存在が薄れてしまったことなどが考えられます。しかし、本学がキリスト教主義の学校である以上、金城学院大学の中心には神への礼拝があり、それを伝統として受け継いでいく使命があります。同窓会支部会などでも必ず礼拝を行うのですが、「礼拝をして久しぶりに自分を見つめることができた」といった声をよく聞きます。新礼拝堂がキャンパスの中心にできたことで、学生たちにも礼拝の大切さや祈りの心をもっと身近に感じて欲しいと思います。

また、毎朝と木曜お昼に行われる礼拝だけでなく、クワイアやハンドベルクワイア、また、音楽芸術学科の学生によるミニコンサート、講演会などを企画し、学生たちが日常的に礼拝堂を訪れる機会をいくつか用意しています。事務棟では、スタッフが常駐し、キリスト教やキリスト教活動に関する質問、相談などにいつでも対応しており、1階ラウンジは、友だちと語り合ったり食事や

休憩をとったり、自由に利用することができます。新礼拝堂は、祈りの場とともに開放的な交流の場でもあり、精神面でも有意義な学生生活を支える存在になることを願っています。

最後に、保護者の方への
 メッセージをお聞かせください。

明治以降に始まった日本の女子教育は、キリスト教の宣教師たちによって基礎がつけられ、現在に至っています。キリスト教主義の学校はその思想をしっかりと受け継いでいかなければならないと思います。金城学院は、明治22年にアメリカ人宣教師アーニー・ランドルフによって開校して以来、聖書の教えに基づき女性教育を行ってきた。豊かな人間性と専門的な学識をバランスよく備え、さらに自分の個性をしっかりと持って社会で活躍する女性を育てることが本学の役割であり、礼拝堂はその象徴となる重要な存在です。

今回の整備計画によりキャンパスは円形のセンタースタイルに建つ新礼拝堂を中心に、そこから波紋が広がっていくように校舎が整備されていきます。これを機に、改めて新礼拝堂自体が求心力を持ち、学生たちが日頃から祈りを捧げたり、キリストの教えに基づく女性教育を実践し、未来へ繋げていく起点になるなど、本学の中軸となる存在にしていきたいと考えています。

礼拝堂は本学の象徴ではありますが、決して学生や教職員だけのものではなく、昔から地域に開かれ、近隣の方々も自由に礼拝に出席されています。保護者の皆様も気軽に御越しいただき、特別礼拝やコンサート、講演会などにぜひご参加ください。生まれ変わった新礼拝堂を通して、本学の理念などを感じていただければと思います。

キャリア支援センターが行う、 今後の就職関連ガイダンス&セミナー【2014年度】

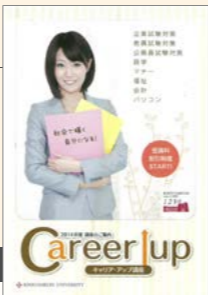
3年生対象(薬学部を除く)	
就職ガイダンス(第4回)※1	9/22(月)~26(金)※2
求職登録カード・自己分析シートの提出	9/25(木)・26(金)、9/29(月)~10/10(金)※3
総合職希望者対象ガイダンス	10/1(水)
就職ガイダンス(第5回)※1	10/7(火)~10/10(金)
Web筆記試験対策講座【基礎編②・③】(企業)	10/17(金)・10/20(月)
体育系クラブ・サークル対象就職ガイダンス	10/21(火)
日本経済新聞活用講座	10/23(木)
日本経済新聞活用講座(第2回)	10/27(月)
日本経済新聞活用講座(第3回)	11/4(火)
OG懇談会(企業)	10/23(木)
ご父母向け「就職説明会」	10/25(土)
就職ガイダンス(第6回)※1	10/28(火)~31(金)
Web筆記試験対策講座【応用編①・②】	11/14(金)・17(月)
就職ガイダンス(第7回)※1	11/18(火)~21(金)
グループ別ガイダンスvol.1	12/8(月)~19(金)※3
就職ガイダンス(第8回)※1	12/2(火)~5(金)
SPI模試※1	12/1(月)~5(金)
SPI講座	12/15(月)・16(火)
OG懇談会(幼・保・小)	12/20(土)
内定者報告会&就職ガイダンス	12月予定
就職ガイダンス(第9回)	2/17(火)~20(金)
非言語講座	2/18(水)・19(木)
社労士に聞く給与明細の仕組み	2/20(金)
グループ別ガイダンスvol.2	2月下旬~6月下旬※4
就活キックオフセミナー	3/17(火)
学外合同企業セミナー	3/17(火)
学内企業セミナー	3/19(木)・20(金)・23(月)~26(木)
就職ガイダンス(幼・保・小)(第1回)	3月上旬
管理栄養士企業セミナー	4年次4月頃の土曜
就職ガイダンス(幼・保・小)(第2回)	4年次5月中旬
教員採用試験説明会	4年次5月中旬
保育士就職対策模擬試験	4年次5月中旬
今こそ受ける集団模擬面接!	4年次7月頃
公務員・教員試験直前面接練習	未定

薬学部5年生対象	
就職ガイダンス(第2回)	8/6(水)・7(木)
就職ガイダンス(第3回)	11/21(金)
就職ガイダンス(第4回)	12/10(水)
就職ガイダンス(第5回)	3/27(金)
学内企業セミナー	3/28(土)・30(月)

※1:幼稚園・保育園・小学校への就職希望者を除く ※2:24(水)は除く ※3:土日を除く ※4:随時開催

キャリア・アップ講座

就職対策の講座、
 人気の資格対策が満載。
 学生時代にいろいろなことに
 チャレンジしてください。



9月募集【申込期間:9/24(水)~26(金)】	
基礎学力・スキルアップ	○【DVD&テキスト】秋期対策講座 ・一般常識を身につける講座 ・基礎学力講座 ・就職にも役立つ読解力&表現力 ・SPI対策講座
企業	○コミュニケーション能力スキルアップ講座 ○入社試験筆記対策講座(トレーニングコース) ○業界研究・職種研究講座 ○就職試験のための自己分析講座 ○履歴書の書き方、手紙のビジネスマナー講座 ○エントリーシートの書き方講座 ○グループディスカッション対策講座(11月コース) ○面接対策講座(12月コース)
身だしなみ	○就活メイクと履歴書用写真撮影(ポートフォリオ)
教員	○教員採用模擬試験(12月受験コース)
公務員	○公務員試験 一般教養試験対策講座(応用コース)

12月募集【申込期間:12/1(月)~3(水)】	
基礎学力・スキルアップ	○【DVD&テキスト】冬期直前対策講座 ・一般常識を身につける講座 ・基礎学力講座 ・就職にも役立つ読解力&表現力 ・SPI対策講座 ・よくわかる「基礎学力」養成講座
企業	○グループディスカッション対策講座(2月コース) ○面接対策講座(2月コース)
教員	○教員採用試験対策講座(教養試験コース) ○教員採用試験対策講座(小学校全科コース)
公務員	○公務員試験 一般教養試験対策講座(直前コース)
【資格】福祉	○サービス介助士準2級検定取得講座(春休みコース)
【資格】パソコン	○MOS Word 2013スペシャリスト(基礎)試験対策講座(春休みコース) ○MOS Excel 2013スペシャリスト(基礎)試験対策講座(春休みコース)

随時募集(学外・通信講座)	
【資格】福祉	○福祉住環境コーディネーター2級検定試験対策講座(通信) ○福祉用具専門相談員養成講座(学外通信) ○介護職員初任者研修講座(通信+学外スクーリング)



旧礼拝堂より移築したステンドグラスが美しく鮮やかに浮かび上がる夕暮れ時
 (事務棟1階 ラウンジ)

エラ・ヒューストン記念礼拝堂 概要



旧礼拝堂と同じく第3代校長エラ・ヒューストン宣教師の功績を讃え、「エラ・ヒューストン記念礼拝堂」と命名された新礼拝堂。2013年2月に着工し、2014年3月19日(水)に献堂式を挙げる。4月8日(火)から新礼拝堂で通常の礼拝が行われ、4月17日(木)の朝・昼・夕の3回、小室尚子教授が礼拝堂献堂礼拝を捧げました。新礼拝堂には、旧礼拝堂で美しい音色を奏でていたパイプオルガンを移設。また、ステンドグラスも事務棟のラウンジ吹き抜けに移設し、旧礼拝堂の歴史を受け継いでいます。隣接する事務棟の2階には会議室を設け、学生や教職員の他、保護者の方々にも開放。会議や勉強会、交流会などにご利用いただけます。詳しくはキリスト教センター事務室までご相談ください。

○規模	地上2階
○構造	鉄筋コンクリート造
○建築面積	680.70㎡
○主要施設	礼拝堂(収容人数:305名、パイプオルガン) 事務棟1階:ラウンジ、宗教主事室、事務室 他 事務棟2階:会議室、休憩室、書庫 他

研究トピックス

特別研究助成費をいただいて

生理活性キノンの酸化還元挙動観測 ー新しい分析方法への取り組みー

薬学部 薬学科 奥村 典子教授
 専門分野:薬学・複合化学



研究室での実験の様子

大学の研究から、学生のクラブ・サークルまで。 父母会はさまざまな活動をサポートしています。

2012~2013年度金城学院大学父母会特別研究助成をいただき、本当にありがとうございます。私の研究室では、「酸化・還元作用」を介して生体内で重要な役割を果たしている化合物一特に抗腫瘍活性を有するキノン類に着目し、種々の実験を行っています。キノン系の抗腫瘍活性物質は生体内で酸化あるいは還元されて活性酸素種を生じ、細胞毒性を引き起こすことが知られています。よって、これらキノン類の酸化・還元過程を分析し、数値化することで抗腫瘍活性を評価・予測できるのではないかと考えています。また同時に、生体内に近い条件で酸化還元測定を可能にする方法をリボソームやマイクロエマルジョンを用いて検討しています。今回特別研究助成を受け、新たな分析法を日本薬学会年会、東海支部大会、および日本薬学会学術誌(Chem. Pharm. Bull. (2014), 62(1), 88-91)で発表することができました。心より御礼申し上げます。化学実験は失敗も多く、再現性を確認するための時間もかかります。研究室では卒業研究に従事する学生さんを含むメンバー全員が共同研究者として実験に取り組み、成果を発表しています。学生さんとの実験、文献検索、ディスカッションを通じて、いつも新たな発見があります。多くの喜びと、研究教育の機会を与えて下さった金城学院大学のみならず、研究室の卒業生を含むみなさんに本当に感謝しています。今後ともご指導、ご協力賜りますようお願い申し上げます。ありがとうございました。

予算及び決算につきまして、主な点を説明します。

2013年度決算について

すべての事業につきまして、予算内で実行することができました。卒業年次生への就職支援及び1・2年生への意識啓発のための助成や、学生が学習成果を公表するための助成を行いました。

2014年度予算について

卒業年次生及び1・2年生に対するキャリア支援の充実を引き続き行ってまいります。また、金城学院キャンパスマスタープランの実施に合わせ、2009年度より積立をしておりました「学生施設建設助成積立金」を取崩し、大学への助成金として寄付をすることが承認されました。

◎収入の部	2013年度収支決算			2014年度収支予算		
	決算額	予算額	増減	2014年予算額	2013年予算額	増減
前年度繰越金	33,242,327	33,242,327	0	29,900,919	33,242,327	△ 3,341,408
入会金 7,000円	9,030,000	9,030,000	0	8,687,000	9,030,000	△ 343,000
会費 12,000円	64,296,000	65,388,000	△ 1,092,000	64,356,000	65,388,000	△ 1,032,000
雑収入 預金利息	15,908	100,000	△ 84,092	100,000	100,000	0
学生施設建設助成積立金取崩収入	—	—	—	19,000,000	—	19,000,000
合計	106,584,235	107,760,327	△ 1,176,092	122,043,919	107,760,327	14,283,592
◎支出の部	決算額	予算額	増減	2014年予算額	2013年予算額	増減
学生教育助成費	4,140,565	4,500,000	△ 359,435	4,697,400	4,500,000	197,400
学生キャリア教育助成費	14,730,000	14,730,000	0	14,730,000	14,730,000	0
学生活動助成費	10,210,043	11,248,600	△ 1,038,557	11,128,200	11,248,600	△ 120,400
学生指導助成費	1,973,480	3,269,400	△ 1,295,920	3,217,800	3,269,400	△ 51,600
教育研究助成費	12,359,224	12,439,000	△ 79,776	12,379,000	12,439,000	△ 60,000
教員研修助成費	1,861,170	3,600,000	△ 1,738,830	4,940,660	3,600,000	1,340,660
事務研修助成費	1,600,000	1,600,000	0	1,600,000	1,600,000	0
地区別懇談会助成費	2,959,509	3,500,000	△ 540,491	3,500,000	3,500,000	0
卒業記念事業費	4,000,000	4,000,000	0	4,000,000	4,000,000	0
環境整備助成費	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	5,000,000	0
父母会活動費	7,579,085	8,900,000	△ 1,320,915	8,900,000	8,900,000	0
学生施設建設助成費	—	—	—	24,000,000	—	24,000,000
学生施設建設助成積立金	5,000,000	5,000,000	0	0	5,000,000	△ 5,000,000
周年事業積立金	5,000,000	5,000,000	0	5,000,000	5,000,000	0
雑費	270,240	1,000,000	△ 729,760	1,000,000	1,000,000	0
予備費	0	23,973,327	△ 23,973,327	17,950,859	23,973,327	△ 6,022,468
次年度繰越金	29,900,919	—	29,900,919	—	—	—
合計	106,584,235	107,760,327	△ 1,176,092	122,043,919	107,760,327	14,283,592
◎特別会計の部	組入額					
周年事業積立金	16,000,000					
学生施設建設助成積立金	19,000,000					

今年度も夏休みに地区別懇談会を開催します。

例年どおり4会場で開催する予定です。大学の現状や当該地域における就職状況の説明の後、就職、教務、学生生活に関する相談などを個別に受け付けます。下記の地区の方々には、別途ご案内をお送りしておりますので、お申込のうえご出席ください。なお、開催日程は以下の通りです。

浜松	グランドホテル浜松	8月30日(土)	13:30~16:00
金沢	金沢都ホテル	9月13日(土)	13:30~16:00
四日市	四日市都ホテル	9月20日(土)	13:30~16:00
岐阜	岐阜グランドホテル	9月27日(土)	13:30~16:00

総会報告

去る2014年6月4日(水)大学にて父母会総会が開催され、2013年度の事業報告・決算、2014年度の事業計画・予算などが承認されました。

2013年度事業報告

父母対象 大学説明会 ■2013年4月1日(月)	【内容】 □キリスト教教育について □学生生活について □教務上の諸事項について □キャリアアップ講座について □大学父母会の活動の協力について
役員会 ■2013年5月24日(金)	【役員会】 総会審議事項の確認 □2012年度事業報告 □2012年度会計報告 □2013年度役員・委員候補者 □2013年度事業計画 □2013年度予算 教育懇談 【歓送迎会】 新旧役員及び大学役職者の歓送迎会
総会 ■2013年6月5日(水)	【総会】 □2012年度事業報告 □2012年度会計報告 □2013年度役員・委員候補者 □2013年度事業計画 □2013年度予算 【全体説明会】 □大学の現状報告 □就職状況について 【講演会】 演題:「ショパンのメッセージ —「子犬のワルツ」「バラード第1番」他の演奏と解説— 講師:文学部音楽芸術学科教授 馬場 マサヨ 氏 【学科別懇談会】 学科ごとに教員との懇談
地区別懇談会 ■四日市: 2013年8月24日(土) ■岐阜: 2013年8月31日(土) ■浜松: 2013年9月7日(土) ■金沢: 2013年9月14日(土)	【概要】 □大学の教育方針・近況等説明 □学生生活上の説明 □個別懇談(成績関係、就職関係、その他) 【出席者数】 □四日市… 父母・学生146名、大学側22名 □岐阜… 父母・学生161名、大学側24名 □浜松… 父母・学生126名、大学側22名 □金沢… 父母・学生 19名、大学側 6名
委員との 懇談会 ■2013年10月18日(金)	【内容】 □講演会 講師:国際情報学部・現代文化学部長 国際情報学部教授 小野 知洋 氏 【懇談会】 父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会
定期懇談会 ■2013年12月6日(金)	【議題等】 □大学の近況報告 □今後の父母会活動について □教育懇談
役員会 ■2014年2月13日(木)	【議題等】 □今年度父母会活動の総括 □卒業記念品について □教育懇談
役員会 ■2014年3月18日(火)	【議題等】 次年度日程について

2014年度事業計画

父母対象 大学説明会 ■2014年4月1日(火)	【内容】 □キリスト教教育について □学生生活について □教務上の諸事項について □キャリアアップ講座について □大学父母会の活動の協力について
役員会 ■2014年5月27日(火)	【役員会】 総会審議事項の確認 □2013年度事業報告 □2013年度会計報告 □2014年度役員・委員候補者 □2014年度事業計画 □2014年度予算 教育懇談 【歓送迎会】 新旧役員及び大学役職者の歓送迎会
総会 ■2014年6月4日(水)	【総会】 □2013年度事業報告 □2013年度会計報告 □2014年度役員・委員候補者 □2014年度事業計画 □2014年度予算 【全体説明会】 □大学の現状報告 □就職状況について 【講演会】 演題:モーツァルト/アンダンテKV315 ジュナン/ヴェニスの謝肉祭 他のフルート演奏 講師:文学部音楽芸術学科准教授 磯貝 俊幸 氏 【学科別懇談会】 学科ごとに教員との懇談
地区別懇談会 ■浜松: 2014年8月30日(土) ■金沢: 2014年9月13日(土) ■四日市: 2014年9月20日(土) ■岐阜: 2014年9月27日(土)	【概要】 □大学の教育方針・近況等説明 □学生生活上の説明 □個別懇談(成績関係、就職関係、その他)
委員との 懇談会 ■2014年10月10日(金)	【内容】 □講演会 講師:人間科学部長 人間科学部教授 中野 修身 氏 【懇談会】 父母会役員・大学役職者とクラス委員との懇談会
定期懇談会 ■2014年12月5日(金)	【議題等】 □大学の近況報告 □今後の父母会活動について □教育懇談
役員会 ■2015年2月12日(木)	【議題等】 □今年度父母会活動の総括 □卒業記念品について □教育懇談
役員会 ■2015年3月18日(水)	【議題等】 次年度日程について

ごあいさつ

金城学院大学父母会 会長 社本 光永

今年度も引き続き父母会会長を務めさせていただきま
す社本と申します。会員皆様におかれましては、いよいよ
清栄のこととお慶び申し上げます。日頃は父母会の活動に
深いご理解とご協力を賜りまして誠にありがとうございます。
会員の皆様と父母会とを結ぶ架け橋といたしまして
「Bridge」第10号をお届けいたします。

6月4日に開催されました総会には、お忙しい中多数の
方々にご出席をいただき誠にありがとうございました。皆様
のご協力によりまして、別頁に掲載しております議案につ
きまして、すべて原案通り承認いただきました。総会後
には大学全体説明会、磯貝俊幸先生によるフルート演奏
そして学科別懇談会を行い、すべてのプログラムが実り
あるものでありましたことを大変喜んでおります。ご協
力いただきました教職員の皆様にも心よりお礼を申し上
げます。

現在、大学において「金城学院キャンパスマスター
プラン(KMP21)」が進んでおり、4月には新礼拝堂である
エラ・ヒューストン記念礼拝堂とN2棟の使用が開始され、
6月中旬からはN1棟の使用が始まりました。N1棟には講
義室の他に学生食堂や売店、学生のロッカールーム、ラ
ーニングコモンズ、スタジオ、音楽ホールなどがあり、
学生たちが生き生きとしたキャンパスライフを送るた
めの大学施設が大変充実してきました。父母会として
総会でご承認いただきました学生施設建設助成により、
学生のキャンパスアメニティーの充実に支援してまい
ります。

最後になりましたが、今後も父母会へのご支援を賜
りますようお願いするとともに、会員皆様のなご一層
のご健勝を心からお祈り申し上げまして、ごあいさつ
に代えさせていただきます。

金城学院大学 学長 奥村 隆平

父母会の皆様には、学生に対する奨学金や課外活動
への助成金をはじめ、本学の教育や研究に対し多大
のご支援を頂き、心から感謝いたします。更には、
2013年度父母会卒業記念品として、センターコート
中央の噴水(リリーポット)をご寄付いただきました。
キャンパスの美化に役立つことが期待されます。今
後も、「金城学院キャンパスマスタープラン(KMP21)」
に基づき一層の整備を続けてまいります。

今後の大学の運営方針といたしましては、学生諸
君の入学から卒業まで丁寧に指導していきたく思
っています。また、学生諸君には金城学院大学で学
んだことを大切にし、就職面や資格取得面で怠りな
いようにしつつ、女性としての社会貢献はいかにあ
るべきかを常に考えていって頂きたいと思っています。

私は金城学院大学の大切な特色は、「福音主義キ
リスト教に基づく女子教育」と「森の中のキャンパス」
であると考えています。第一の点については、今後、
世の中は少子高齢化でますます労働力が不足し、
今以上に女性の社会進出が期待されるようになり、
リーダーシップを発揮できる女性がさらに必要と
される時代になります。金城学院大学の教育スロー
ガンは「強く、優しく。」ですが、広い教養、高い
専門的知識、あるいは的確な技能など社会で生き
る上での強みを持ちながら、隣人に対して愛をも
って接することのできる優しさを身に着けた女性
を育成したいと思っています。

本学のもう一つの特色は、緑に包まれた「森の中
のキャンパス」であるということです。キャンパス内
に里山がある環境で学ぶことによって、自然との
共生や自然環境の保護に目が向けられていくこと
でしょう。日本と世界の未来を考えると環境問題
について無関心ではられません。この意味で本学
は学びの場として理想的な環境を提供しているの
です。

金城学院大学は、これまでキリスト教精神に基
づく女性のための理想的な教育を追求してまい
りました。これからもその歩みを続けてまい
ります。

学内トピックス

卒業記念品として噴水(リリーポット)を センターコートに寄贈

2013年度の卒業記念品として、噴水(リリーポ
ット)を寄贈いたしました。「リリーポット」という
名前は、学内において学生、教職員を対象に名称
を募集し、選考の上決定したものです。リリーポ
ットは、エラ・ヒューストン記念礼拝堂、N1棟
前のセンターコートの入口にあり、通学する学
生を迎えてくれます。リリーポットの設置によ
りセンターコートがさらに美しい空間となり、
学生達の憩いの場となることを期待していま
す。



リリーポット完成予想図